

# あいち農産物生産流通レポート

平成25年12月号

情報サロン		
・あいちの農林水産フェアを開催しました	(食育推進課) .....	1
地域トピックス		
・豊橋市農産物ブランド化のためのプロモーション活動について	(東三河農林水産事務所) .....	2
東日本情報		
・各県の農産物販売促進イベント開催について	(東京事務所) .....	3
西日本情報		
・農林水産祭「実りのフェスティバル」に出展しました	(食育推進課) .....	5
フラワーページ		
・農林水産祭での花のPR	(東京事務所) .....	7
青果		
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場) .....		8
・名古屋・東京市場における青果物の12月の見通し .....		9
花き		
・切花・鉢花の12月の見通し(県内市場) .....		21
輸出入		
・主要農林水産物の輸出入実績(2013年9月) .....		25
関連指数 .....		26

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6421

## あいちの農林水産フェアを開催しました

多くの県民の方々が農林水産業に親しみ、県産農林水産物を進んで消費・利用していただくことを目的に、新鮮で、安全・安心な農林水産物や、県産食材を活用した加工食品を広く紹介する「あいちの農林水産フェア」を、11月14日(木)から19日(火)まで名古屋市中区栄の丸栄で開催し、6日間で25,638の方が来場しました。

## 【 内 容 】

## 1 県産農林水産物及び加工品の紹介・販売

51の企業・団体が出展し、旬のれんこんや祖父江ぎんなんなどの農産物を始め、フェア限定の「いいとも千なり」、本年度のふるさと食品コンテストで最優秀に選ばれた加工食品「豊橋うずらたま5くん」など、愛知が誇る産品が数多く出品されました。

また、イートインコーナーでは、愛知が誇るブランド肉の「名古屋コーチン」、「愛とん」、「みかわ牛」の料理を提供し、来場者から好評を得ました。

## 2 楽しく学べる主催者企画

県施策を紹介するためのクイズラリーには712名の参加があり、県民の方々へ効果的に本県の農林水産行政について伝えることができました。

また、キウイフルーツの食べ比べ、ポップコーン作り、松ぼっくり工作、脱穀・舂すり・米粉挽き、ハーブソルト・野菜スイーツ作り、のりの等級あてなどの体験企画や、漬物創作料理、地元食材を使った加工品、きのこ、水稻新品種、ジビエの試食など、新たなイベントメニューを加え、気軽に楽しめる内容であったことから、いずれの企画も好評でした。

本フェアの丸栄での開催は、23年度から3回目となりましたが、3年間で11万人の県民が来場し、地産地消、食育、環境などを学ぶ機会となっています。

また、来場者アンケートでは、98%の方が来年もフェアに参加したいとの回答であり、県民ニーズの高いイベントとして定着しています。



会場内の様子



カーネーションの無料配布



キウイフルーツ食べ比べ体験

## 豊橋市農産物ブランド化のためのプロモーション活動について

### 【背景】

豊橋市は、全国に誇る産業である農業を次世代へと繋げ、さらに躍進させるため、農産物の需要拡大とブランド力の強化（豊橋産の差別化、消費者との接点）を目的として以下の活動を実践している。

### 【地域における活動】



多数の人で賑わう

#### 1 まちなかマルシェ

豊橋の農産物を地域の方や豊橋へ訪れた方々に味わい知ってもらうため、毎月1回、乗降客が多数往来する豊鉄渥美線豊橋駅南口駅前広場で、「まちなかマルシェ」を開催している。

毎回、野菜、果物、魚介類、茶、卵、肉、乳製品等新鮮な農畜産物が多数販売され、訪れた方々からは「他で売られている物より美味しい。」「新鮮で、安く、安心して買うことができる。」と評判で、口コミで訪れる方も増え、開催毎に盛況となり、20回以上を数える今では重要な情報発信の地となっている。

#### 2 マスコットキャラクター（うずラッキー）の活用

豊橋の農業営業本部長の肩書きをもつ“うずラッキー”は、市民農業まつり、まちなかマルシェの農産物販売イベントを始め、豊橋まつり、地元大学の学園祭、障害者支援施設での文化祭、アマチュアオーケストラフェスティバル等多様なイベントに登場し、ウズラの卵や農産物の消費拡大及び認知度アップに貢献している。



うずラッキー

### 【首都圏における活動】

#### 1 豊橋・東三河ええじゃないか観光物産展

東京有楽町にある交通会館で、「豊橋・東三河ええじゃないか観光物産展」を開催し、ブランド化戦略品目である「トマト・スナップエンドウ・ウズラ卵」を中心に知名度アップを図っている。今年で4年目を迎え、年5回程（8月を除く偶数月）の開催であるが、訪れる人々から「新鮮で安価で安心な農産物」と好評で、「次回はいつ」と開催を待ちわびる声も聞かれている。



特産品を覗く人々



接客する職員

#### 2 交通会館マルシェ

毎週、土・日と祝日に東京交通会館で開催される「交通会館マルシェ」は、全国各地の特産品が多数並ぶ首都圏で人気のイベントである。豊橋市もこのマルシェに毎月1回出店し、僅か3㎡のブースで首都圏の皆様へ豊橋の旬の野菜を提供している。今年度は特に「A豊橋の高糖度トマト「麗」「美」のブランド力アップに力を入れている。

#### 3 その他のPR活動

今年度から銀座地下街において、ゆるキャラ“トヨッキー”が豊橋産農産物を主原料にしたスイーツをPRしている。また、首都圏の電車内広告や駅貼りポスター等により豊橋産農産物のPRに努めている。

## 各県の農産物販売促進イベント開催について

秋も深まり首都圏各地で農業祭・収穫祭などのイベントが行われています。本県も都庁で行われた「ふるさと47ビレッジ」や明治公園で行われた「農林水産祭実りのフェスティバル」などでブース出展し、積極的に本県産農産物のPRに努めているところであります。各県も同様に様々な形で首都圏での農産物販売促進イベントを開催しているところです。そこで今回は、こういったイベントの特徴的な傾向について、在京流通行政連絡会（東京に事務所を置く農産物流通に携わる行政機関をもって組織され、全国各地から20県が加入）の情報交換会での内容をもとに簡単にまとめたものを紹介します。

### 1 店舗での知事などによる販売促進イベント



石川県副知事（左）香川県知事（右）

9月18日（水）に銀座で開催された佐賀県と大分県による合同販売促進イベントなどの「複数県合同による開催」や、銀座や新宿といった都心でのイベント開催から、郊外の大規模ショッピングモール等での実施が目立ってきています。そんな中で、平成25年11月17日（日）に埼玉県郊外（越谷市）の日本最大級のショッピングモールで行われた、「石川県・香川県フェア」は、香川県・石川県観光パートナーシップ協定に基づく、首都圏での合同観光PRの一環として開催されたもので、最近の動きとして特徴的なものだと思います。

その他、県のセールスの形態は、東国原前宮崎県知事の時の様な、「知事が自ら主役になってのトップセールス」の形から、地元出身タレント、スポーツ選手、ゆるキャラ等を起用しての実施へとシフトしてきています。

また、自県のアンテナショップ、例えば、鹿児島県「遊楽館」にて、その時々旬の野菜などのフェアを適宜行っていたり、群馬県でも「ぐんまちゃん家」において、「グットぐんまの農畜産物フェア」を開催したりと、定期的にイベントを実施する事案も目立ってきています。



## 2 既存のお祭りへ参加

9月8日(日)に目黒駅前で行われた「目黒のさんま祭り」にて、すだちの



東京タワーでのさんま祭り

PRでの徳島県の参加、9月15日(日)に行われた目黒区民まつりでの「さんま祭り」にて、カボスのPRでの大分県の参加、そして、9月23日(祝・月)に東京タワーで行われた「三陸・大船渡東京タワーサンマまつり」が鹿児島県肝付市産の「だいたい」を提供するなど、祭りの特色に溶け込んでの実施も盛んに行われています。

## 3 料理教室や小学校などに出向いて出前授業

食育を含めた自県の農産物のPRをするという形で、高知県や宮崎県などは、首都圏の料理教室や小学校へ出向いての出前授業を行うというスタイルで行われています。

## 4 実需者向けの商談会等のイベント

これは、定番化しているスタイルではありますが、知事がトップセールスを行う場として都内のホテルでの実需者向けの商談会といったイベントも盛んに行われています。去る、10月29日(火)にも栃木県が「『とちぎのいいもの』まるごと商談会」と銘打って、都内高級ホテルに於きまして、栃木県知事によるトップセールスが行われました。

そのほか、レストラン等飲食店に食材提供しての開催等、様々な形で首都圏への農産物の売込みを続けております。本県としても、より効果的な手法でPRを進めていく必要があります。



挨拶する福田富一栃木県知事



展示された「とちおとめ」と県産農産物

## 農林水産祭「実りのフェスティバル」に出展しました

11月8日(金)、9日(土)の2日間にわたり、明治公園(東京都新宿区)で、農林水産祭「実りのフェスティバル」が開催されました。このイベントは、農林水産業と食に対する国民一般の理解の増進と、農林水産物の消費拡大等に資するため、都道府県、農林水産関係団体の協力を得て開催されているもので、今年で52回目となります。

8日(金)の開場に先立ち、秋篠宮同妃両殿下が来場され、愛知県ブースもご覧いただき、11月のあいちの花である白輪菊のフラワーアレンジメントや、2月に池袋サンシャインシティで開催される「関東東海花の展覧会」のポスター、出展商品等の説明を行いました。

愛知県ブースではキャベツやトマト、おおば、ふき、ブロッコリー、ぎんなん、柿等の青果物に加え、千切り大根やうずら卵の燻製といった加工品、またシクラメンやカーネーションなどの花きを販売しました。



愛知県ブースの様子

「実りのフェスティバル」は毎年開催しているためリピーターも多く、愛知県産の青果物を探して来られたり、去年買ったシクラメンがまだ元気ですよ、とおっしゃってくださる方、また愛知県出身で地元を懐かしんで商品を購入していかれる方もみえました。

そうした中、初めての来場で愛知県の青果物についてイメージがわからない、と言われるお客様も多く、愛知県はキャベツやおおば、花きなどの日本一の産地であることを伝えると驚かれています。

また、ぎんなんやふきなどの調理方法やレシピが分からない、という方も多かったため、こちらから積極的に説明することで購入していただき、PRすることができました。

まだまだ東京では、愛知県産の青果物について認知度がそれほど高くないという現状ではありますが、まずはこうしたイベントに出展することで少しでも多くの方に知っていただき、これをきっかけにスーパーなどで手に取っていただければ、と思いました。



愛知県ブースの陳列状況



他県の様子



## 農林水産祭での花のPR

11月8、9日に新宿区霞岳の明治公園で第52回農林水産祭が行われました。本県は、毎年キャベツ、トマトをはじめとする青果とバラ、カーネーション、ポインセチアを販売し、愛知県の農産物をPRしています。

### 販売の様子

バラ、カーネーション(50cm)は2本で300円、シクラメン(5号鉢)は、1,200円で販売されました。シクラメンは豊川市産でボリューム感があり、人気商品となっています。毎年買われるお客さんもあり、今年も人気上々、特にピンク、赤系が人気でした。バラは豊川市産、カーネーションは知多産で、中でも濃いピンクのスプレーバラが人気でした。



愛知県ブースでの花の販売

### フラワーアレンジの展示

農林水産祭では毎年、会場の一部を皇室が御観覧されます。今年は愛知県ブースにもお立ち寄りになり、展示装飾として、NFD愛知県支部の佐々さんがアレンジした満開切りの白菊「ブルームマム」の作品を展示しました。素晴らしいできればえに秋篠宮様も足を止められ、感心した面持ちでご覧になられていました。

また、訪れたお客さんもこのアレンジで使用したブルームマムを発見し、「是非いただきたい」という方がたくさんみえました。閉会後は解体し、皆さんにお配りしました。



花のアレンジの展示

### 来場者の声

会場で110名の方に農産物についてアンケートを行いました。その結果、愛知県が花の大産地であることを知っている人は、42名で38%の方に知られていました。また、花を買うときに最も重視することは、日持ちで50%の方が回答されました。次いで価格、種類が36%、色が35%で、産地を重視する方は12%とあまり気にされていないようでした。

今後も愛知県産の花のPRを通じ、愛知県が花の産地であることを多くの方に知っていただき、品質のいい花を買ってもらえるようになるといいですね。



## 愛 知 産 青 果 物 の 動 向

青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ± 2 % 台以内  
 や や : ± 3 ~ 5 % 台  
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台  
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

### 名古屋市中央卸売市場（品目：れんこん）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地
		うち愛知産		うち愛知産	
24年実績	442	241 (55%)	357	389	茨城 (44%)
25年見通し	410	-	350	-	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>県内の主な産地は愛西市。台風の影響もなく、生育は順調。大玉傾向である。                      入荷量は平年より少なめとなる見込みで、前年をかなり下回り、価格は前年並みの見込み。</p>			<p>愛知県以外では茨城、徳島などから入荷予定。各産地とも生育は順調。昨年に引き続き、大口れんこんが増加している。                      最近、メディアでれんこんの特集が組まれるなど、注目度が高まっており、需要の増加も期待されるので、安定的な生産・出荷をお願いしたい。</p>		

### 東京都中央卸売市場（サニーレタス）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
24年実績	661	132 (20%)	201	217	茨城 (28%) 福岡 (15%) 静岡 (13%)
25年見通し	640	-	240	-	
概 要 と 見 通 し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>茨城の秋作は例年、上旬でほぼ切り上がり、本県産と静岡からの入荷が増加してくる。                      茨城は台風とその後の降雨により12月出荷分の生育は遅れ気味、本県産についても10月の曇雨天の影響でやや不作傾向。                      入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込みである。</p>			<p>サニーレタスについて、繰り返し言っていることだが、収穫後の処理について、切り口の処理、低温輸送などの鮮度保持にも十分注意して出荷して欲しい。                      また、業務需要のウェイトが高いため、安定的な生産・出荷をお願いしたい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の12月の見通し

名古屋市中央卸売市場

11月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	20年	37,803	206	203	200	216	愛知 29%
	21年	37,192	191	180	183	208	北海道 26%
	22年	35,413	197	199	192	201	茨城 8%
	23年	34,363	209	185	201	240	長崎 4%
	24年	35,377	216	186	213	239	
	5ヵ年平均	36,030	204	-	-	-	
	25年見通し	32,800	225	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>品目によっては台風の被害や、夏場の高温、干ばつの影響が出ている。野菜全体として、高値で推移している。今後は冷え込み次第で状況が変わってくるが、年末に向けて安定した供給が望まれる。</p> <p>入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>							
だいこん	20年	2,348	71	82	71	59	愛知 33%
	21年	2,263	55	48	48	67	千葉 22%
	22年	2,022	53	59	54	45	鹿児島 11%
	23年	2,206	60	57	61	69	静岡 9%
	24年	1,965	82	71	87	95	
	5ヵ年平均	2,161	64	63	64	67	
	25年見通し	2,000	80	80	80	80	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>愛知、千葉からの入荷が中心となる。12月中下旬からは徳島と静岡も出始めるが、年末までは荷動きは良くない見込み。台風の影響で、出荷量にも波がある。例年に比べ、数量減・高値のため、出荷量は安定しない。入荷量は前年並みで、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>							
にんじん	20年	2,644	95	103	91	90	愛知 77%
	21年	2,546	69	67	65	75	北海道 6%
	22年	2,161	102	103	100	104	岐阜 5%
	23年	2,045	110	111	111	113	長崎 5%
	24年	2,072	106	95	109	115	
	5ヵ年平均	2,294	95	95	94	98	
	25年見通し	2,000	110	110	110	110	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>愛知を中心に、岐阜、北海道の残量が入荷。岐阜の各務原は上旬には終了予定。各産地とも作況はまずまず良好。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

11月22日現在

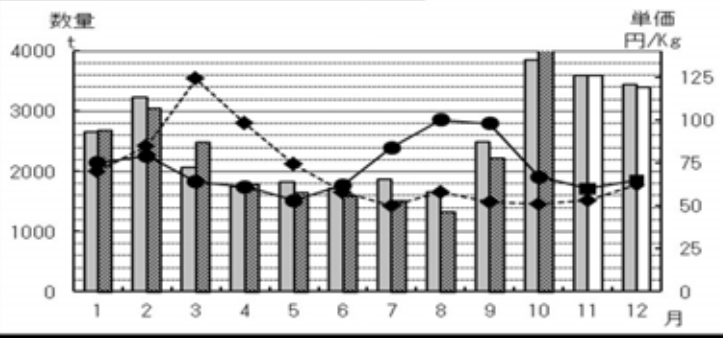
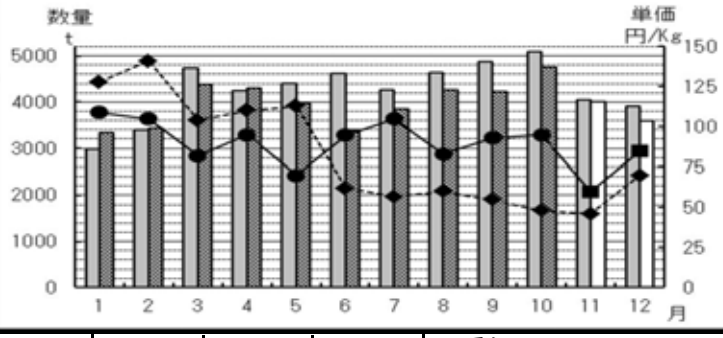
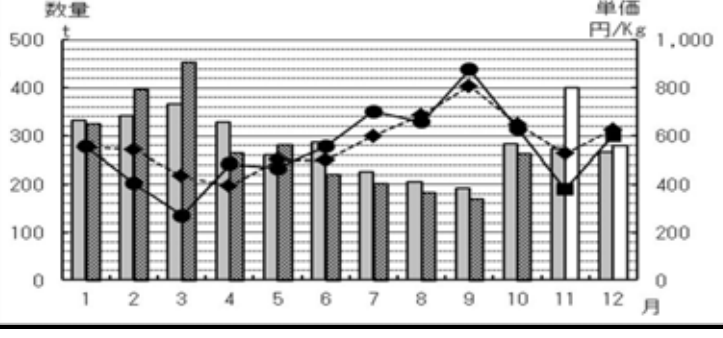
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	20年	139,352	225	221	218	236	千葉 18%
	21年	139,942	209	190	191	243	茨城 17%
	22年	133,394	212	205	200	229	北海道 15%
	23年	133,063	227	195	216	268	愛知 8%
	24年	136,938	244	209	241	281	(愛知産比率 8%)
	5ヵ年平均	136,538	223	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	134,000	240	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>関東産地からの入荷が中心で、土物類は前月に続き北海道からの入荷となる。11月は品薄から高値で推移したが、12月に入り若干は入荷増が見込める。ばれいしょ、たまねぎをはじめ、全国的に不作傾向となっている。</p> <p>入荷量は前年をわずかに下回り、価格は高値であった前年並を見込む。</p>							
だいこん	20年	13,132	68	78	68	59	神奈川 48%
	21年	12,694	53	46	44	66	千葉 42%
	22年	13,546	51	56	51	48	徳島 4%
	23年	12,402	59	52	56	67	鹿児島 2%
	24年	13,297	82	67	77	98	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	13,014	63	60	59	68	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	12,700	80	80	80	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>関東産地からの入荷が中心となる。千葉は生育遅れがあり、出荷サイズも小ぶり傾向となる。神奈川も相次ぐ台風の接近等の影響で小ぶりの仕上がりとなっている。年末需要もあり相場は堅調に推移する。</p> <p>全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は高値推移の前年をわずかに下回る見込み。</p>							
にんじん	20年	8,877	110	114	102	117	千葉 78%
	21年	9,517	80	77	74	87	埼玉 7%
	22年	8,398	127	122	118	139	茨城 4%
	23年	8,685	99	87	95	114	香川 4%
	24年	8,866	124	112	119	137	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	8,869	107	102	102	119	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	8,800	150	140	150	160	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>千葉を中心とした関東産地からの入荷が本格化する。千葉は高温干ばつの影響から小ぶりの仕上がりとなっている。埼玉は生育環境は良好で順調な出荷が期待できる。</p> <p>入荷量は前年並を見込み、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>							



名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	前年主要産地(%) (愛知産比率)			
				上旬	中旬	下旬	
ほうきさい	20年	3,965	65	61	65	68	愛知 45%
	21年	3,696	49	45	48	54	茨城 45%
	22年	3,741	57	56	58	56	宮崎 6%
	23年	3,375	53	49	53	59	
	24年	3,440	62	52	65	69	
	5ヵ年平均	3,643	57	53	58	61	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	3,400	65	65	65	65	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>愛知、茨城からの入荷が中心となる。岐阜、長野からも一部入荷する。愛知、茨城は現在やや遅れ気味であるが、12月には他の産地に追いつく見込み。 入荷量は前年並みで、価格は前年をやや上回る見込み。</p>							
キャベツ	20年	3,387	107	116	104	101	愛知 90%
	21年	3,385	51	41	40	73	茨城 8%
	22年	3,311	81	98	76	71	鹿児島 1%
	23年	3,468	75	64	74	90	
	24年	3,916	70	53	76	84	
	5ヵ年平均	3,493	77	74	74	84	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	3,600	85	80	80	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>愛知、茨城からの入荷が中心となる。愛知は9月の高温、干ばつの影響で小玉傾向にあるが、その後生育は回復しており、例年通りの価格で安定する見込み。ただし、急な冷え込みが心配される。茨城は小玉傾向が続く見込み。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>							
ほうれんそう	20年	437	410	480	404	352	愛知 68%
	21年	393	436	395	425	498	群馬 11%
	22年	404	375	409	365	351	徳島 7%
	23年	331	418	361	424	526	茨城 4%
	24年	265	625	658	724	567	
	5ヵ年平均	366	440	450	450	446	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	280	600	650	600	550	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>愛知中心の入荷となる。愛知産は虫害が多く入荷が安定しないため、高値が続く見込み。関東ものも入荷はするが、愛知産が多くを占めるので、ほうれんそう全体でこうした状況が12月一杯は続くと思われる。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>							

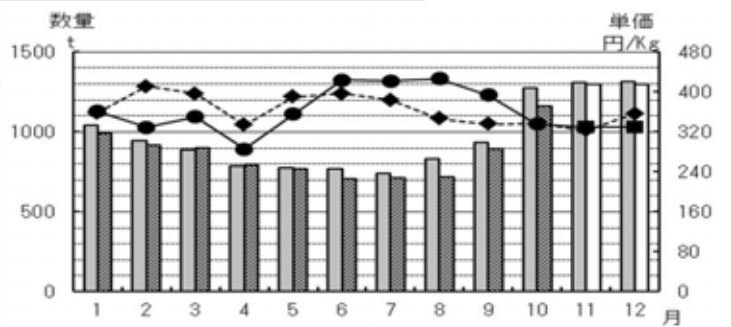
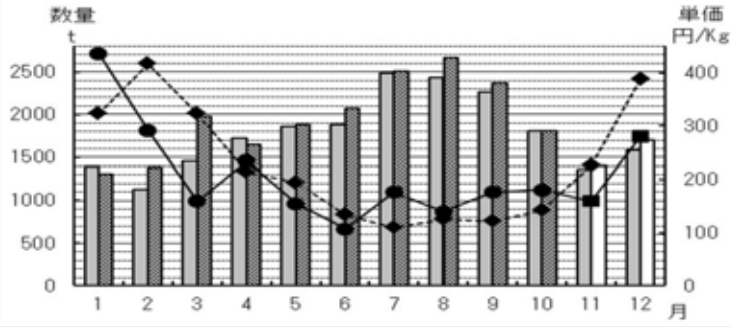
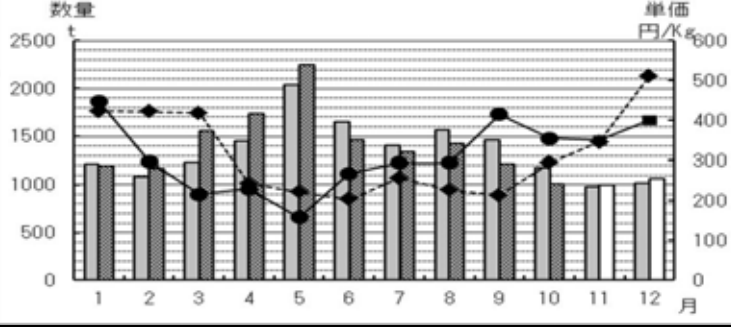
東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうきさい	20年	14,844	48	47	49	茨城	95%
	21年	14,727	30	28	33	群馬	2%
	22年	13,904	48	51	47	和歌山	1%
	23年	14,086	36	34	40	岩手	1%
	24年	14,975	51	40	52	59	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	14,507	43	40	42	46	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
25年見通し	14,100	60	65	60	55		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野に代わり茨城からの入荷が中心となる。茨城の生育は各地域によってばらつきがあり、豊作型であった昨年に比べやや不作傾向。 入荷量は多かった前年をやや下回り、価格についても比較的高値であった前年を大幅に上回る見込み。</p>					
		<p>数量 (トン) と単価 (円/kg) の12ヶ月別推移。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。</p>					
キャベツ	20年	12,536	100	112	88	愛知	55%
	21年	13,948	55	47	75	千葉	25%
	22年	13,051	83	97	73	茨城	8%
	23年	12,899	78	64	97	神奈川	6%
	24年	13,729	79	59	83	97	(愛知産比率 55%)
	5ヵ年平均	13,233	79	76	76	86	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
25年見通し	12,500	100	100	100	100		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉を始めとする関東産地に愛知からの入荷が本格化する。関東産地は昨年とは対照的に小玉傾向で生育にもばらつきがみられる。本県産についても関東ほどではないがやや玉のびが鈍く昨年ほどの潤沢な出荷は見込めない。 全体の入荷量は前年をかなり下回り、価格は大幅に上回る見込み。</p>					
		<p>数量 (トン) と単価 (円/kg) の12ヶ月別推移。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。</p>					
ほうれんそう	20年	2,043	360	413	320	群馬	42%
	21年	1,899	406	358	507	千葉	17%
	22年	2,003	343	353	356	茨城	17%
	23年	1,555	414	332	554	埼玉	12%
	24年	1,372	637	593	650	654	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	1,774	418	410	409	478	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
25年見通し	1,300	650	660	650	640		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地からの入荷が中心となる。各産地は、夏以降の天候不順と台風の影響で安定供給の難しい状態が続いている。 入荷量は少なかった前年をやや下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>					
		<p>数量 (トン) と単価 (円/kg) の12ヶ月別推移。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	20年	1,442	310	303	292	337	愛知 17%
	21年	1,477	332	283	308	391	大分 15%
	22年	1,401	357	348	333	383	静岡 13%
	23年	1,361	297	287	281	331	群馬 10%
	24年	1,316	357	316	350	407	
	5カ年平均	1,399	330	307	312	370	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	1,300	330	300	330	360	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>長ねぎは愛知からの入荷が中心となる。夏場の高温により、品質の低下が心配される。白ねぎは静岡、鳥取、大分などから入荷。鳥取は台風の影響により作況は悪い。大分は1～2週間程度遅れている。群馬の土ねぎは数量が少ない見込み。 入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							
しそ	20年	1,607	282	294	259	296	兵庫 36%
	21年	1,615	206	188	181	240	静岡 16%
	22年	1,909	141	160	130	136	愛知 15%
	23年	1,706	227	158	209	311	長崎 11%
	24年	1,583	388	297	431	408	
	5カ年平均	1,684	244	216	237	273	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	1,700	280	290	250	290	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>兵庫からの入荷が中心で、他に愛知、静岡、長崎、熊本等から入荷。全体的に冷え込みが厳しく、兵庫は例年の7～8割の出荷量となる見込み。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>							
きゅうり	20年	1,267	408	394	398	433	愛知 48%
	21年	1,242	373	316	347	463	宮崎 19%
	22年	2,316	221	166	233	276	高知 15%
	23年	1,097	493	435	572	496	鹿児島 15%
	24年	1,021	512	502	512	533	
	5カ年平均	1,389	368	326	378	411	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	1,060	400	400	400	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>主力産地は愛知、宮崎、高知、鹿児島の西南暖地。11月は天候の影響により出荷量は少なかったが、12月は順調な出荷が望まれる。野菜全体の高値に引っ張られ、きゅうりも高値が続く見込み。 入荷量は前年をやや上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>							



東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	20年	6,826	196	207	172	209	千葉 23%
	21年	6,464	243	205	216	298	茨城 19%
	22年	5,860	266	265	252	277	埼玉 17%
	23年	6,656	189	188	178	200	群馬 13%
	24年	6,382	261	247	251	283	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	6,438	230	222	214	253	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
25年見通し	6,200	260	260	260	260		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地からの入荷が本格化してくる。現況千葉は出遅れ数量減少で高値推移しているが、品質的には下級品の割合も多く数量が増えてくれば相場は一気に落ち着く見込み。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は高値推移した前年並を見込む。</p>					
しそ	20年	7,544	262	265	246	275	静岡 34%
	21年	7,383	205	185	187	237	茨城 15%
	22年	8,305	149	154	143	149	兵庫 12%
	23年	7,754	230	165	209	310	香川 9%
	24年	6,643	396	289	445	437	(愛知産比率 4%)
	5ヵ年平均	7,526	243	217	246	282	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
25年見通し	6,700	250	250	250	250		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>静岡からの入荷が本格化し、香川、兵庫からの入荷も続く。静岡は現況、出遅れもあり少なめの出荷となっている。西南暖地でも出遅れがみられる。12月に入っても品薄状態は続く見込み。 全体の入荷量は前年並が見込まれ、価格は高騰した前年を大幅に下回る見込み。</p>					
きゅう	20年	4,949	423	413	408	451	宮崎 41%
	21年	4,989	390	333	363	475	千葉 19%
	22年	4,809	354	289	316	466	高知 16%
	23年	4,341	520	449	606	515	埼玉 14%
	24年	4,351	537	522	535	552	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	4,688	441	401	446	492	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
25年見通し	4,400	470	450	470	490		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地に加えて西南暖地からの入荷が増加してくる。西南暖地は地域によってまじまじの生育状況で不安定な出荷となる。埼玉、千葉は天候不順で病害の発生が多い。 入荷量は少なかった前年並となり、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬	(愛知産比率)	
な	20年	427	355	349	357	359	愛知 49%
	21年	457	362	372	381	327	熊本 48%
	22年	409	332	327	337	335	高知 3%
	23年	386	370	349	383	407	岐阜 0%
	24年	348	420	408	422	444	
す	5ヵ年平均	406	366	360	374	371	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	370	400	380	400	430	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>千両なすは愛知、長なすは熊本からの入荷が中心となる。台風の影響等もなく、生育は順調。ただ、ハウスものは重油の高騰により、入荷量が減少する可能性もある。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
マ	20年	866	337	395	313	308	熊本 36%
	21年	953	282	347	254	250	愛知 33%
	22年	855	300	302	286	310	三重 22%
	23年	737	430	403	432	478	岐阜 7%
	24年	823	418	416	429	419	
ト	5ヵ年平均	847	349	371	338	347	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	840	400	380	420	400	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>愛知、熊本、三重、岐阜からの入荷が中心となる。12月は概ね潤沢な入荷が見込まれ、特に上中旬は品数が増える見込み。冷え込みが厳しくなると、重油高による影響も心配されるが、生育は順調である。入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
ミ	20年	228	685	758	646	667	愛知 50%
	21年	294	522	486	483	605	熊本 38%
	22年	309	548	543	521	583	和歌山 7%
	23年	304	694	621	672	749	
	24年	322	703	715	702	672	
ト	5ヵ年平均	291	629	619	604	655	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	320	680	650	700	650	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>愛知、熊本、一部和歌山から入荷。各産地とも生育は良好。天候次第ではあるが、順調な出荷が見込まれる。12月後半には、クリスマス需要で活発な販売が期待される。入荷量は前年並みで、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	20年	2,051	400	399	407	393	高知 61%
	21年	2,001	400	435	408	355	福岡 17%
	22年	1,722	420	400	426	436	熊本 9%
	23年	1,720	474	436	476	530	佐賀 5%
	24年	1,680	482	501	499	443	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	1,835	433	434	443	431	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	1,600	480	480	480	480	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地に代わり、西南暖地からの入荷が本格化する。各産地とも不作とまではいかないが、秋の曇雨天の影響で若干少なめの出荷となる見込み。                      全体の入荷量は少なかった前年をやや下回り、価格は高値で推移した前年並の見込み。</p>					
ト マ ト	20年	4,652	396	462	364	367	熊本 47%
	21年	5,373	330	369	312	312	愛知 20%
	22年	4,807	345	337	333	366	千葉 9%
	23年	4,315	494	438	495	553	栃木 8%
	24年	4,865	450	451	455	443	(愛知産比率 20%)
	5ヵ年平均	4,802	400	411	392	408	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	4,700	450	450	450	450	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地に加え、西南暖地と愛知からの入荷が本格化する。熊本は着花にばらつきがあり大きなピークはなく、玉は小玉傾向。本県産についても10月の曇雨天の影響で花着きが悪く前年割れの出荷量を見込んでいる。                      全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は高値の前年並となる見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	20年	1,053	654	709	609	652	熊本 35%
	21年	1,290	480	462	430	553	愛知 29%
	22年	1,251	512	516	471	550	宮崎 9%
	23年	1,238	677	597	683	749	千葉 9%
	24年	1,454	693	715	700	666	(愛知産比率 29%)
	5ヵ年平均	1,257	604	600	579	634	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	1,300	670	680	670	660	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地と愛知、熊本からの入荷が中心となる。愛知、熊本とも生育は概ね順調であるが、トマト同様やや生育にばらつきがある。                      入荷量は多かった前年をかなり下回り、価格も高かった前年をやや下回る見込み。</p>					



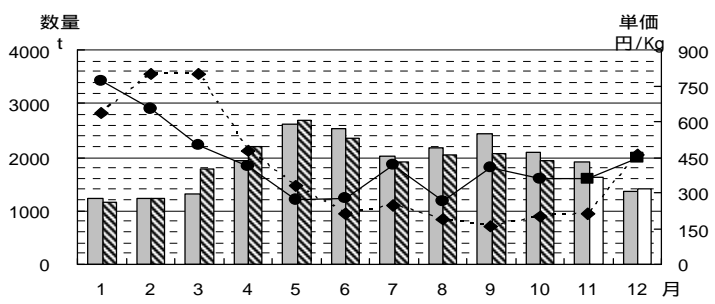
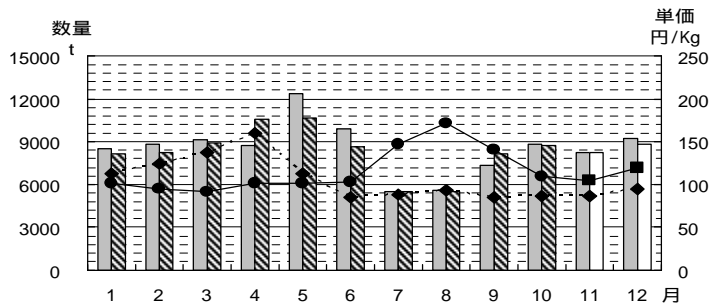
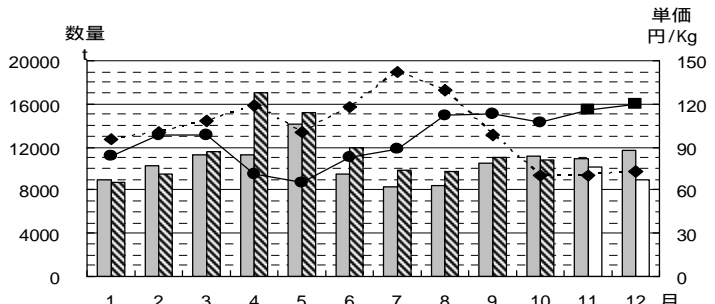
名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬	(愛知産比率)	
ピーマン	20年	350	538	491	579	527	鹿児島 41%
	21年	376	477	424	489	517	宮崎 39%
	22年	444	338	322	356	340	高知 19%
	23年	391	456	461	454	500	
	24年	353	443	312	511	577	(愛知産比率 0%)
マン	5カ年平均	383	445	399	472	485	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	370	400	400	400	400	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		鹿児島、宮崎、高知など西南産地からの 入荷が中心となる。天候次第ではあるが、 潤沢に出荷される見込み。ただ12月、特 に年末は需要が落ち、消費が鈍る見込み。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年 をかなり下回る見込み。					
ばれいしょ	20年	3,068	87	89	90	80	北海道 62%
	21年	2,939	115	129	124	97	長崎 38%
	22年	2,521	139	155	143	117	愛知 0%
	23年	2,792	97	96	98	92	
	24年	2,849	89	89	92	84	(愛知産比率 0%)
いしょ	5カ年平均	2,834	104	110	108	93	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	2,600	100	100	100	100	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		北海道、長崎からの入荷が中心となる。北 海道からの入荷は需要に即したオーダー制を とっているため、余分な入荷はされない。長 崎は5日頃から入荷が始まるが、干ばつの影 響で小玉傾向にあり、入荷遅れが心配され る。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年 をかなり上回る見込み。					
たまねぎ	20年	6,094	64	67	66	58	北海道 99%
	21年	6,013	87	94	96	76	中国 1%
	22年	4,788	114	129	108	105	アメリカ 0%
	23年	5,034	81	86	86	80	兵庫 0%
	24年	6,287	66	67	71	69	
ねぎ	5カ年平均	5,643	81	87	84	76	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	4,800	110	110	110	110	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		ほとんどが北海道からの入荷となる。夏 の生育が悪く、小玉傾向。貯蔵ものが少な く、2~3割例年より少なくなる見込み。 輸入ものも多めに入ってくる見込み。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前 年を大幅に上回る見込み。					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	20年	1,642	493	488	522	457	茨城 36%
	21年	1,400	485	396	508	564	宮崎 35%
	22年	1,463	331	334	322	338	高知 16%
	23年	1,404	437	416	426	474	鹿児島 12%
	24年	1,353	459	305	526	591	(愛知産比率 -%)
マン	5カ年平均	1,452	442	388	461	485	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	1,400	450	450	450	450	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>茨城に加えて西南暖地からの入荷が始まる。各産地とも総じて秋以降の天候不順の影響を大なり小なり受け、花着き、着果状態はやや悪いが、量的には作付増の産地もあり不足感はない。</p> <p>入荷量は少なかった前年をやや上回り、価格は前年並の見込み。</p>					
ばれいしょ	20年	8,093	97	97	96	97	北海道 81%
	21年	7,892	134	131	132	140	長崎 18%
	22年	7,064	149	156	147	145	
	23年	8,517	105	105	102	107	
	24年	9,217	94	92	93	98	(愛知産比率 -%)
いしょ	5カ年平均	8,157	114	116	114	117	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	8,800	120	120	120	120	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>北海道からの入荷が中心となる。道内各産地では作柄にばらつきがあるものの特に主力産地を中心に作柄が安定していることから、品薄感はない。たまねぎの高値に引っ張られている面もあるが好調な販売が期待できる。</p> <p>入荷量は多かった前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
たまねぎ	20年	10,509	74	75	74	73	北海道 96%
	21年	10,206	113	106	115	118	中国 2%
	22年	8,681	142	145	142	140	兵庫 1%
	23年	9,921	90	89	91	90	米国 1%
	24年	11,682	73	71	73	76	(愛知産比率 -%)
ねぎ	5カ年平均	10,200	96	97	99	99	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	8,900	120	120	120	120	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>春先まで北海道中心の入荷が続く。北海道全体的な作柄は、生育期の高温、干ばつ等、気象変化の影響を受け不作傾向となった。小玉傾向で品薄感もある。</p> <p>入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果 実 計	20年	13,535	303	272	307	331	愛知 20%
	21年	13,251	257	227	268	277	静岡 18%
	22年	12,335	322	290	326	352	フィリピン 13%
	23年	13,474	295	251	311	335	和歌山 11%
	24年	12,693	317	260	343	358	
	5ヵ年平均	13,058	298	-	-	-	
	25年見通し	12,100	300	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
みかん、りんご、かき、いちご等が入荷。みかん、りんご等台風の影響を受けた品目もあり、特にみかんは表年ではあるが不作。キウイフルーツはNZの在庫次第であるが、安定して入荷しそう。 入荷量、価格とも前年をやや下回る見込み。							
み か ん	20年	6,155	244	230	240	259	静岡 37%
	21年	6,337	163	139	159	184	愛知 36%
	22年	5,636	241	236	238	247	和歌山 21%
	23年	7,250	186	159	183	222	三重 2%
	24年	6,043	221	201	210	247	
	5ヵ年平均	6,284	209	-	-	-	
	25年見通し	6,000	230	220	230	250	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
静岡、愛知からの入荷が中心となる。作況は悪く、着果が少ないため大玉傾向であり、2L、3L中心となる。年末から年明けにかけて、特に数が減少しそう。 入荷量は前年並みで、価格は前年をやや上回る見込み。							
い ち ご	20年	717	1,329	1,126	1,284	1,556	愛知 63%
	21年	647	1,307	1,163	1,180	1,539	熊本 15%
	22年	628	1,581	1,255	1,492	1,881	三重 8%
	23年	597	1,581	1,155	1,665	1,919	鹿児島 7%
	24年	532	2,108	1,744	2,178	2,266	
	5ヵ年平均	624	1,556	-	-	-	
	25年見通し	580	1,600	1,200	1,600	1,800	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
愛知、熊本からの入荷が中心となる。小玉傾向であり、全体的に1週間以上出荷のペースが早く、12月上旬から中旬にかけてピークを迎える。下旬以降は入荷量は減少しそう。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。							

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果 実 計	20年	60,870	322	292	324	345	愛媛 28%
	21年	62,430	272	245	279	287	和歌山 12%
	22年	52,620	361	325	359	393	長崎 9%
	23年	57,925	355	306	339	356	熊本 8%
	24年	57,991	342	294	357	369	(愛知産比率 1%)
	5ヵ年平均	58,367	329	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	54,500	355	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>みかん中心にりんご、いちごなどが入荷する。りんごはサンふじが中心で非常に良い出来。洋なしはラ・フランスがやや前倒しの出荷で昨年並。柿は、富有が中心で豊作年の前年を大幅に下回る出荷となる。全体では入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回ると見込まれる。</p>					
み か ん	20年	35,101	243	242	245	243	愛媛 43%
	21年	36,856	172	167	170	175	和歌山 18%
	22年	29,766	264	259	263	269	長崎 14%
	23年	36,856	228	211	227	239	熊本 9%
	24年	35,940	253	243	251	260	(愛知産比率 1%)
	5ヵ年平均	34,904	230	223	230	236	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	34,000	255	250	250	260	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛媛中心に和歌山等から普通温州が入荷する。早生品種は12月上旬でほぼ終了。着果、生育とも順調で食味もよい。愛媛は後半にはL、M中心の出荷となる。長崎は年末出荷量が減る見込み。下旬には青島も入荷する。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並みと見込まれる。</p>					
い ち ご	20年	3,197	1,402	1,270	1,276	1,627	栃木 43%
	21年	3,057	1,430	1,236	1,312	1,639	福岡 19%
	22年	2,848	1,601	1,314	1,480	1,874	佐賀 10%
	23年	2,719	1,574	1,199	1,563	1,939	茨城 9%
	24年	2,213	2,016	1,821	1,949	2,167	(愛知産比率 4%)
	5ヵ年平均	2,807	1,579	1,345	1,487	1,825	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	2,450	1,850	1,700	1,800	1,900	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>栃木、福岡、佐賀等から入荷。栃木は1番果と2番果の切れ目もなく順調に出荷される。福岡も中旬頃から出荷が増え、年末も潤沢になる見込み。佐賀も順調に増加しており、中旬辺りがピークになる。入荷量は少なかった前年からかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					

## 切花・鉢花の12月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 11月29日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実 績	20年	4,387	52	
		21年	3,441	62	
		22年	3,400	51	
		23年	2,982	48	
		24年	2,749	60	
	5ヶ年平均	3,392	54		
25年見通し	3,000	55			
概要	愛知、三重、沖縄等から入荷。昨年は台風被害が大きく、入荷は少なかったが、平年作に戻る。12月上旬はやや少なめであるが、順次増加し、20日過ぎにピークを迎える。極端な山もなく、堅調な動きとなろう。				
小 ぎ	実 績	20年	2,846	26	
		21年	2,335	30	
		22年	2,112	31	
		23年	2,328	29	
		24年	1,867	39	
	5ヶ年平均	2,298	30		
25年見通し	2,300	30			
概要	沖縄、愛知、奈良等から入荷。昨年のような台風被害はあまりなく、沖縄では施設化が進み、平年よりも多めの作付となっている。12月中旬からは潤沢な入荷が見込まれ、出方によっては販売に苦戦する局面も考えられる。				
カー ネ ー シ ョ ン	実 績	20年	1,233	41	
		21年	1,206	41	
		22年	1,482	32	
		23年	1,312	40	
		24年	1,291	42	
	5ヶ年平均	1,305	39		
25年見通し	1,300	42			
概要	愛知を中心に長野、和歌山等から入荷。今年も前年より更に夏の高温で早い出荷となったのに加え、10月も夏のような異常な暑さで全体的に前進出荷となってきている。12月には2番花の長い物の出荷も見込まれ、年末需要に期待が持てる。				
か す み 草	実 績	20年	213	89	
		21年	175	97	
		22年	205	64	
		23年	190	76	
		24年	170	104	
	5ヶ年平均	191	85		
25年見通し	170	105			
概要	高知、和歌山、熊本から入荷。11月中にかなり切りだされたため、12月の出荷は少なくなりそう。前半は業務中心の動きで、価格は昨年並み。後半は入荷数量次第だが、かなりの高値が予想される。				



単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	20年	507	163	
		21年	437	168	
		22年	437	188	
		23年	454	178	
		24年	480	174	
	5ヶ年平均		463	174	
	25年見通し		500	175	
概要	OHは高知、埼玉、愛知中心。昨年は厳冬のため、数量が少なかった分、やや前倒し気味の作付となっている。中旬以降は潤沢な入荷で、年末商戦の仕掛けが難しい。入荷次第では中旬以降厳しい販売になる。鉄砲、LAは順調で後半にピークが予想され、例年通りの販売。				
洋らん	実績	20年	459	119	
		21年	402	121	
		22年	648	80	
		23年	600	100	
		24年	681	95	
	5ヶ年平均		558	100	
	25年見通し		680	100	
概要	高知、徳島、鹿児島、静岡、愛知等の国内産及び輸入品が入荷。11月からの品薄感から、このまま年末の需要期に入っていく、堅調な動きが予想されるが、途中高値疲れ感が出る場面も考えられる。				
ばら	実績	20年	852	86	
		21年	895	81	
		22年	793	82	
		23年	786	84	
		24年	897	79	
	5ヶ年平均		845	82	
	25年見通し		900	80	
概要	愛知、岐阜、三重、和歌山中心に入荷。各産地、夏の暑さから出荷スケジュールのずれが生じているため、クリスマス、年末に赤バラ中心に遅れる可能性があり、国内産の出荷量はやや少なめと思われる。				
枝も	実績	20年	5,009	64	
		21年	4,597	64	
		22年	5,580	43	
		23年	4,805	47	
		24年	4,964	52	
	5ヶ年平均		4,991	54	
	25年見通し		4,900	55	
概要	茨城、兵庫、愛媛、和歌山、静岡、長野から年末花材が入荷。年末花材の松、千両は、姫南天は品不足の為、引合いは強まりそう。後半はボケ、雪柳と花物が入荷。生産量は減少しているが、需要も減っており、軟調な動きと思われる。				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ドラセナ類	実績	20年	14,820	728	
		21年	11,898	730	
		22年	10,244	683	
		23年	8,051	1,007	
		24年	9,874	929	
	5ヶ年平均	10,977	797		
	25年見通し	9,800	918		
概要	<p>入荷量は昨年より減少か。                      昨年12月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知県(75.9%)、2位鹿児島県(16.7%)、3位三重県(2.3%)となっている。</p>				
ショコバサボテン	実績	20年	18,162	532	
		21年	12,035	482	
		22年	19,127	435	
		23年	12,802	594	
		24年	17,871	438	
	5ヶ年平均	15,999	490		
	25年見通し	17,500	429		
概要	<p>注文が11月末にずれ込んでいるため、入荷量は若干減少か。大きいサイズの数量が減少傾向。今年は10月から厳しい相場が続いているため、価格は下げの予想。                      昨年12月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知県(93.0%)、2位埼玉県(4.4%)、3位茨城県(1.6%)となっている。</p>				
シクラメン	実績	20年	718,327	403	
		21年	616,427	400	
		22年	708,373	377	
		23年	687,038	371	
		24年	718,558	360	
	5ヶ年平均	689,745	382		
	25年見通し	718,000	359		
概要	<p>入荷量は昨年より減少か。生産量からみても特に5~6号は減少気味。気候にも左右されるが、上旬~中旬までは比較的相場も安定すると思われる。下旬に関しては昨年と同様に低迷が予想される。                      昨年12月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知県(32.5%)、2位長野県(20.5%)、3位山梨県(8.5%)となっている。</p>				

単位：鉢、円/鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
シンビジュウム	実績	20年	167,941	2,305	
		21年	139,230	2,300	
		22年	148,386	2,509	
		23年	150,478	2,489	
		24年	134,328	2,473	
	5ヶ年平均	148,073	2,413		
	25年見通し	134,000	2,463		
概要	<p>入荷量は昨年並みか。今年は昨年と比べ、順調に作付けされており昨年同等位の出荷があると思われる。出荷は昨年同様に12月上旬を狙い、年内出荷を進めてゆきたい。また色目も黄、グリーン、白系が少ないので併せて出荷依頼をかけてゆく。</p> <p>昨年12月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位愛知県（48.6%）、2位徳島県（11.7%）、3位高知県（8.2%）となっている。</p>				
カラッコエ	実績	20年	37,078	204	
		21年	34,016	200	
		22年	32,039	236	
		23年	34,644	202	
		24年	32,745	220	
	5ヶ年平均	34,104	212		
	25年見通し	32,000	219		
概要	<p>入荷量は昨年並みか。年末の寄せ植え需要など、特に3.5～2.5号の小鉢物に人気が集積しそう。6～5号に関しては依然人気で、ローズフラワーパリの変わり咲きも昨年に続き好調の予想。</p> <p>昨年12月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位岐阜県（59.5%）、2位埼玉県（35.4%）、3位茨城県（4.5%）となっている。</p>				
パンジ	実績	20年	977,954	29	
		21年	601,375	30	
		22年	558,913	49	
		23年	610,404	36	
		24年	524,640	44	
	5ヶ年平均	654,657	36		
	25年見通し	500,000	44		
概要	<p>秋前半の前倒し出荷、開花状況による出荷調整により、入荷量は昨年並み、もしくはやや減少か。</p> <p>昨年12月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位愛知県（38.5%）、2位奈良県（28.2%）、3位三重県（19.2%）となっている。</p>				

# 主要農林水産物の輸出入実績(2013年)

## 1 輸入実績

品名	9月						9月までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	57,175	115.8	8,326,840	16.9	146	14.6	568,424	83	68,335,933	63	120	76
トマト	795	169.7	301,590	206.2	379	121.5	5,896	140	2,183,081	155	370	111
たまねぎ	28,771	123.4	1,191,253	100.0	41	81.0	197,710	73	11,554,147	108	58	147
にんにく	1,501	104.1	231,227	82.7	154	79.4	13,937	91	2,693,678	120	193	132
ねぎ	4,837	126.6	586,295	150.9	121	119.2	40,298	105	4,491,189	98	111	94
ブロッコリー	3,702	95.2	841,851	149.9	227	157.5	29,425	77	5,690,095	101	193	132
結球キャベツ	1,099	204.1	41,700	240.9	38	118.0	20,901	66	802,752	69	38	105
にんじん・かぶ	6,545	121.8	349,053	148.8	53	122.2	59,603	91	3,302,264	106	55	117
ごぼう	3,546	93.8	249,746	166.6	70	177.6	27,576	79	1,525,457	84	55	106
えんどう	53	75.8	20,474	108.2	385	142.8	1,425	68	501,602	69	352	101
アスパラガス	887	146.9	541,583	140.7	610	95.8	7,855	68	4,476,579	88	570	129
まつたけ	343	86.5	1,925,882	109.2	5,610	126.2	778	81	3,487,986	104	4,482	128
しいたけ	212	158.1	84,106	207.6	397	131.3	2,295	80	797,575	84	348	104
かぼちゃ	101	55.4	14,992	73.5	148	132.6	86,401	86	6,604,484	100	76	116
果実(生鮮・乾燥)	123,560	91.6	16,947,885	114.6	137	125.1	1,390,894	91	199,035,043	110	143	121
バナナ	76,432	90.1	6,351,132	119.3	83	132.4	739,726	88	61,401,267	111	83	126
パイナップル	11,521	94.5	778,915	98.7	68	104.4	136,303	103	8,398,882	107	62	104
レモン	4,987	146.8	633,952	212.3	127	144.7	38,487	89	5,233,129	113	136	127
オレンジ	8,186	118.0	909,088	146.6	111	124.3	98,245	85	10,829,298	98	110	115
グレープフルーツ	686	19.3	46,768	17.8	68	92.1	110,999	86	10,734,654	95	97	110
メロン	2,143	69.0	187,759	82.0	88	119.0	26,998	116	2,826,799	119	105	103
ぶどう	995	83.6	292,889	92.8	294	111.1	15,307	101	3,668,283	118	240	117
キウイ	5,316	94.9	1,424,329	87.2	268	91.9	52,686	93	16,720,485	88	317	95
いちご	737	118.5	704,930	142.4	957	120.2	2,237	107	2,138,942	126	956	118
切花(生鮮・乾燥)	4,905	99.2	4,019,070	108.9	819	109.8	34,340	101	27,146,671	108	791	107
鳥獣肉類	130,134	90.9	62,797,808	100.3	483	110.3	1,336,110	98	631,266,696	108	472	110
牛肉(くず肉含む)	34,951	83.1	17,894,398	97.4	512	117.2	401,993	103	200,164,418	121	498	117
豚肉(くず肉含む)	59,493	94.6	31,411,563	95.2	528	100.7	546,776	94	288,326,177	94	527	101
鶏肉	27,174	86.4	6,939,511	105.0	255	121.5	308,655	96	83,544,045	115	271	120
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	119,513	85.3	82,935,074	104.7	694	122.7	1,236,374	91	741,553,351	97	600	107
まぐろ類	16,739	88.3	16,410,694	92.8	980	105.0	151,200	92	126,430,067	90	836	97
さば・さんま・あじ・いわし	2,416	64.2	554,481	68.1	230	106.2	44,684	77	8,627,877	78	193	101

## 2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	1,598	105.7	853,115	107.1	534	101.3	10,827	261	4,871,206	204	450	78
うんしゅうみかん	11	142.6	10,640	139.7	957	97.9	185	145	118,660	143	641	99
りんご	66	64.6	26,362	61.3	401	94.9	7,807	380	2,662,284	288	341	76
なし	650	81.4	300,580	79.6	463	97.8	1,036	125	500,009	127	483	102
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	334,411	127.9	-	-	-	-	2,128,271	120	-	-
緑茶	294	126.7	669,611	143.7	2,278	113.5	2,065	124	4,734,239	131	2,293	106

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

# 関 連 指 数

年 月		消費者物価指数				
		総 合	生 鮮 野 菜	生 鮮 果 物	肉 類	魚 介 類
		全 国 平成22年 = 100				
		愛知県 平成22年 = 100				
全 国	22年平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	25年 5月	99.8	87.1	104.4	98.5	99.5
	6月	99.8	85.7	103.4	98.4	99.9
	7月	100.0	94.1	98.1	99.2	101.6
	8月	100.3	92.3	101.5	99.5	103.3
	9月	100.6	102.9	94.6	100.0	107.9
愛 知 県	22年平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	25年 5月	99.7	88.3	107.3	97.0	101.5
	6月	99.7	90.0	100.7	99.1	101.5
	7月	100.0	99.3	98.4	100.2	105.9
	8月	100.3	94.7	106.1	99.4	104.8
	9月	100.5	104.2	98.3	99.5	109.0

年 月		農業物価指数 (平成22年 = 100)				
		農産物 総 合	米	野 菜	果 実	畜産物
		全 国 平成22年 = 100				
		愛知県 平成22年 = 100				
全 国	22年平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	25年 5月	99.5	114.1	82.2	103.3	105.6
	6月	97.4	113.5	88.5	99.4	105.5
	7月	102.4	113.3	98.3	102.0	108.2
	8月	97.1	111.9	82.4	91.3	108.8
	9月	102.9	106.0	107.8	78.8	110.2
愛 知 県	22年平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	25年 5月	99.7	88.3	107.3	97.0	101.5
	6月	99.7	90.0	100.7	99.1	101.5
	7月	100.0	99.3	98.4	100.2	105.9
	8月	100.3	94.7	106.1	99.4	104.8
	9月	100.5	104.2	98.3	99.5	109.0

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」  
愛知県・愛知県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格 (円)														
年 月	品目 単位	うるち 米 (単一品種、 「コシ加」 以外)	キ ャ ベ ツ	は く さ い	ね ぎ	レ タ ス	ば れ い し ょ	だ い こ ん	に ん じ ん	た ま ね ぎ	き ゆ う り	ト マ ト	生 し い た け	りん ご (ふ じ)
		5 kg	1 kg									100g	1kg	
24年平均		2,112	147	178	629	457	297	160	350	229	558	665	165	564
25年 5月		2,167	165	173	626	329	290	132	355	211	378	504	147	499
6月		2,158	124	170	645	284	282	133	363	209	470	496	155	544
7月		2,230	80	131	616	362	247	157	322	214	473	708	187	
8月		2,158	130	231	746	343	330	158	394	222	454	577	161	
9月		2,123	140	217	664	459	378	190	361	251	639	656	161	
年 月	品目 単位	み か ん	グ レ イ プ フ ル ー ツ	オ レ ン ジ	い ち ご	バ ナ ナ	キ ウ イ フ ル ー ツ	緑 茶 (せん 茶)	カ ー ネ ー シ ョ ン	き く	バ ラ	豚 肉 (ロ ー ス)	牛 肉 (ロ ー ス)	ま ぐ ろ
		1 kg	100g	1 kg	100g	1 本	100g	1 本	100g					
24年平均		582	283	352	177	211	805	534	153	168	306	225	797	398
25年 5月			308	372	149	223	719	559	170	166	311	214	753	399
6月			304	387		210	781	557	141	167	311	223	742	409
7月		513	286	340		209	781	516	148	161	297	213	804	375
8月			273	358		211	771	559	167	181	307	223	754	421
9月		638	262	385		204	803	557	162	171	316	229	808	420

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」





## いいともあいち運動って知ってる??

県内の消費者と生産者が今まで以上に**いい友**関係になる

Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

= もっと愛知県産品を食べよう (利用しよう)

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていこうという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート 486  
平成25年12月発行  
農林水産部食育推進課  
〒460-8501  
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号  
電話 (052) 954-6421